

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 知的障害 小学部5年生 18人

簡単な日常会話や読み書きなどができる児童から、クレーン動作での要求や具体物を使ってやり取りして、意思の表出を教師が見取る児童などさまざまな児童がいて実態の差が大きい。1学期に「町探検をしよう」という学習で学校周辺にはどのような店があるかを調べる学習を行い、身近な店や施設に興味を持つことができた。9月の単元では「家族の仕事」について調べ身近な職業について目を向けることができた。それらの学習で、少しずつ職業や仕事についての学習を積み重ねるとともに、友達と相談したり役割分担したりして協力して課題を解決することや、約束を守ってグループで活動に取り組むことについても学習を積み重ねてきた。

2. 単元名「お仕事図鑑を作ろう」（全11時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・公共施設でのマナーが分かり、集団行動をすることができる
思考力, 判断力, 表現力等	・インタビューで見たことや分かったことを、それぞれの方法で発表することができる。
学びに向かう力, 人間性等	・「仕事」に興味を持ち、自分から質問したり、発表したりして課題を解決しようとする。

4. 本時の目標

※「5」を単元で作成する場合は省略可能です。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

- ・みんなでインタビューして調べた僕たちの「お仕事図鑑」を作ろう。
- ・インタビューの仕方や校外でのマナー（歩き方、話し方など）を身に付けよう。

考えるための材料

- ・子どもたちが「お仕事図鑑」を作りたいと思えるような見本や空欄のページ（未完成の部分）を提示する。

想定される活動

- ・実際に働く人（教員、店員）にインタビューや質問をする。
- ・どのような質問をするか考えなければならないことに気づき、仲間と相談する。
- ・質問をする人、メモをとる人など役割分担が必要だと考える。
- ・児童同士で話し合っって空欄に記入したり、インタビューの内容をまとめたりする。
- ・まとめた内容を紹介したり、別のグループの発表を聞いたりすることで「職業」や「仕事」に目を向ける。

考えるための材料

- ・校外での学習の約束を提示する。
- ・校外学習の様子を写真や動画を見て仲間と振り返る。

想定される活動

- ・なぜ校外での約束があるのかを意見を出し合い、実際にどのような行動をすればよいのかを考える。
- ・約束を守って活動できたかを児童同士で振り返り、互いに認め合う。
- ・できたこと、次の場面に生かしたいことなどに気付く。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

対話の方法

- ・実態に幅のある5、6人のグループで、それぞれ、どの店にインタビューに行きたいか、どんな質問にするかについて自分の意見を言ったり選択肢から選んだりして伝え合って共有する。見本の「お仕事図鑑」を参考に、店や質問内容を考える。
- ・実際の働いている様子を見たり、道具に触れたりして体感し、その体験を共有する。
- ・なぜ校外での約束があるのかを意見を出し合い、実際にどのような行動をすればよいのかを考える。
- ・約束を守って活動できたかを児童同士で振り返り、互いに認め合う。

対話や思考のプロセス

- ・「この店に行きたい。」「僕はこの店。」「どんな仕事をするか知りたいよ。」「どうやって作るのか聞いてみたい。」「僕はこれ（選択肢から選ぶ）」「僕も同じ」など、興味のある店や仕事、知りたいことや聞いてみたいことについての意見を出し合いグループで共有しまとめていく。
- ・「こんな仕事してた。」「こんな道具を使っていたね。」「こんな仕事もするんだって。」「そうなんだ。知らなかった。」など、実際に見たことや聞いたことを振り返り、共有する。
- ・グループごとの発表を聞き、「こんなことが分かったよ。」「次はこの店も調べたい。」など「仕事」についての興味を広げていく。
- ・「他のお客さんもいるから、静かに見学しないとね。」「買い物じゃないから、お店の物は触らないようにしなきゃ。」「並び順守れなかった。」など約束やマナーについて考え、話し合って確認し合う。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・「どんな仕事をしますか。」「どんな道具を使いますか。」などの質問をする。
- ・インタビューや見学で分かったことをまとめて自分たちの「お仕事図鑑」を作り、模造紙にまとめる。
- ・「お仕事図鑑」について発表したり、別のグループの発表を聞いたりして「仕事」への興味を深める。
- ・「他のお客さんもいるから、静かに見学しないとね。」「買い物じゃないから、お店の物は触らないようにしなきゃ。」など約束やマナーについて事前に話し合う。話し合いの内容からどのような行動をすればよいか分かり、気を付けることができる。
- ・「静かに見学できた。」「並んで移動できた。」「自分から挨拶できなかった。」など終了後に自分たちの行動を振り返り、確認し合う。